

平成30年9月議会 新風の会代表質問 成川正幸

1. シティプロモーションとシビックプライドの醸成について

(1) 本市 PR 用写真の管理とドローンによる航空撮影を。

<答弁>

写真は、市、または民間企業において、それぞれ管理されている。「ドローンの写真撮影」について使用する計画はないが今後、活用方法を検討する。今後、魅力的な写真を発信していきたい。

(2) スマートフォン用ホームページに対する考えは。

(答弁)

昨年度は、約46%がスマートフォンやタブレット端末からの閲覧となっている。

本市ホームページは、本年度中の更新に向け作業を進めており、スマートフォン用ホームページについても対応する。

(3) 「中学生議会」「こども議会」などは出来ないか。

(答弁)

今後どのような方法が良いか検討する。

(4) 北陸新幹線開業時、「まっすぐ黒部」のコピーが良く使われていたが、今後の誘客向けコピーの考えは。

(答弁)

引き続き「まっすぐ黒部」のロゴマークを活用していく。

(5) 本市で行われる大型イベントを一括して紹介できないのか。

(答弁)

本年度中に予定しているホームページの更新に合わせインパクトや見やすさなどを工夫するとともに、本市主催以外のイベントについても集約することを検討する。

2. 防災対策について

(1) 本市でのハザードマップの認知度と活用方法

(答弁)

数値で示することは難しいが、取り組みを通じて、認知度の向上に努めていきたい。また今後、市の出前講座においてハザードマップ等を活用した机上訓練を選択メニューに加えることも検討したい。

(3) 防災訓練に参加していない方への防災意識の周知方法と外国人や町内会未加入者に伝える方法はどうか。

(答弁)

各種イベントへの参画などにより多くの方の目に触れる場所での展示などを行っていくほか、みらーれテレビなどのメディアによる周知も図っていきたい。

また、外国人への周知については、専用アプリによる防災情報の提供やハザードマップの多言語化について、今後検討したい。

(4) 福祉避難所の設置状況と今後の取り組みについて

(答弁)

現在、6施設の福祉避難所があり、今後も市内の福祉施設等に福祉避難所として協力してもらえよう働きかけていきたい。

なお本年、市の防災訓練において一般避難所から福祉避難所で受け入れる訓練を実施したが、来年度以降も引き続き、福祉避難所と連携して実践的な受け入れ訓練を実施したい。

また、備蓄品等については、市や施設の備蓄状況を考慮、不足分の整備を進めていきたい。

3. 市内外との連携・交流の促進について

(1) 全国の自治体や民間・大学などと連携強化を。

(答弁)

環境が異なる地域との連携により、それぞれの地域の課題解決に結びつけることが可能か検討することも必要と考える。

また、これまで以上に民間企業や大学などとの連携を図り、新たな発想も取り入れながらまちづくりを進めていきたい。

(3) 各種団体の補助金交付に関する今後のあり方についての考え方は。

(答弁)

「補助交付金評価シート」を活用し、その評価結果に基づいて事務事業の改善・見直しを行い予算要求することとし、漫然と市の支援を受けることにならないよう取り組んでいる。

4. 市内の使われていない土地・建物について

(1) 現在の空き家ランク別の推移・数と課題は。

(答弁)

件数 (件)

| ランク | A | B | C | D (特定空き家) | 全空き家数 |
|--------------|----|----|-----|-----------|-------|
| 平成 29 年 1 月末 | 39 | 42 | 876 | 31 (14) | 988 |

| | | | | |
|--------------|--|--|--------|--|
| 平成 30 年 8 月末 | | | 19 (3) | |
|--------------|--|--|--------|--|

空き家等のランク状況の調査については、2021 年度に実施を予定している空き家等対策計画更新の際に市内全域において行いたい。

課題については、空き家の劣化が進行しないよう適切な管理、利活用可能な空き家の有効活用であり、市としても、所有者への意識啓発に努めていく。

(2) 空き家情報バンクの課題と今後の進め方は。

認知度を高めていくことが課題である。

今年度、「空き家情報バンク仲介報奨金」制度を創設し、「空き家情報バンク活用促進補助金」や「登録空き家リフォーム等補助金」制度と合わせて、市ホームページやイベント等で周知している。また、黒部市立地適正化計画で定めた「居住誘導区域」内の空き家の所有者に対しても「空き家情報バンク」への登録を促すダイレクトメールを送付するなど周知している。

(3) 貸店舗情報を市でも PR できないか。

(答弁)

本年 1 1 月までに「空き店舗情報バンク」を整備し、黒部商工会議所、市ホームページにおいて公表する。

(4) 市が管理する公共施設や未利用地について。

(答弁)

売却処分を基本とし新たな歳入の確保に努め、行政サービスへの充当により市民に還元していきたい。

5. 市政運営について

(1) 本市の運営についての考え方を。

(答弁)

「選択と集中」については、さらに一歩進化させて「選択の中の選択」によりメリハリを付け、重点化を進めることで、市民福祉の一層の向上を目指した特色ある施策展開により地域経済を下支えし、地域の活力創出につながる投資も着実に行っていきたい。

市長公約である「健やか」「展やか」「朗らか」黒部の創造に向けた取組については、既存の施策、事業の妥当性、有効性、効率性を改めて検証した上で、緊急度が高いと判断したもののから順次、「選択の中の選択」、「組み換え」による重点化を進め、予算へ反映させていきたい。